

みやぎ街道交流会

題字:高倉 淳初代会長 揮毫

みやぎ
街 道
交流 会
ニ ュ ー ス
第 24 号

2013.07.20 発行



追悼特集

ありがとうございます

たか くら きよし

高倉 淳 先生

平成25年6月29日、享年88才でご逝去された
高倉名誉会長の追悼特集をお届けします。

みやぎ街道交流会第1回交流会（栗原大会）にて、鮮やかな紅葉の街道を歩く高倉名誉会長／平成19年11月17日

その他の記事

- 平成25年度定期総会 開催報告
- 夏の地名講座 太宰幸子 太平洋沿岸地域を歩く のご案内
- とうほく街道会議 第9回交流会 一関大会 の予告
- 事務局からのお知らせ

ありがとうございます 高倉 淳 先生

お別れの言葉

謹んで、みやぎ街道交流会名誉会長の高倉淳先生のご逝去を悼み、お別れのことばを申し上げます。

高倉淳先生には、平成19年5月3日の「みやぎ街道交流会」発足と同時に、初代会長にご就任頂き、街道の県内第1人者として、またその実績とカリスマ性で、平成23年6月までの4年間にわたり当会をご指導頂きました。

先生は、『私たち交流会は、面として交流の輪をひろげ、大いに楽しみましょう。関心を持つといろいろなものが見えてきます。見えた新発見を肴にして歓談すると、また一步前に進みたくなります。交流の輪が広がり、地域に残された文化遺産を正しく後世に伝えていくこと…』を実践され、街道探訪会では先頭を歩き、そして夜を徹して語り合う街道談義にも欠かさずに出席されていました。

また、平成17年から講演などでパワーポイントを使用され、平成19年には「八十の手習い」と称して自身のホームページを開設し、仙台領の街道等これまでの調査・研究の成果を掲載されており、そのエネルギーと頭の柔らかさには、只々恐れ入るばかりでした。

平成21年12月、栗原市金成地区の奥州街道刈り払い翌年の年頭挨拶では、『百年後の人たちが史跡と伝説の豊かな金成を出発、松並木の下を歩き、茶屋で郷土料理に舌鼓を打ち、有壁本陣で大名や庶民の旅に思いをはせる…ここで寅年生まれの私の初夢が覚めました。』と夢を語っておられました。

しかし、平成22年11月に倒れられ、翌年3月から自宅療養とのことで、1日も早いご回復をと願っていたところ、平成25年6月29日、享年88才で、永久に旅立たれました。

「みやぎ街道交流会」は大きな指導者を失いましたが、これまでの先生のご指導を礎として、街道を通じた素晴らしい宮城の地域づくりを進めることをお誓い申し上げます。

高倉淳先生、これまで本当にありがとうございました。どうか心安らかに眠りください。 合掌

(みやぎ街道交流会 事務局一同)



- P1 上段：H19.05.03 高倉先生と語る会
／この会をきっかけにみやぎ街道交流会が発足
- P1 中段：H19.05.03 みやぎ街道交流会設立
／設立当時のメンバーとの記念撮影（前列中央）
- P1 下段：H21.04.18 みやぎ街道交流会 観桜会
／事務局有志によるお花見会（前列右手）
- P2 上段：H21.09.05 炭焼藤太講演会
／パワーポイントを使って研究成果を紹介する先生の様子
- P2 中段：H21.12.19 栗原奥州街道刈り払い
／雪の中、メガホンを片手に頼もしい先生
- P2 下段：H22.06.19 誕生日会
／総会の打上げと称して、誕生日前日のサプライズパーティー

ありし日のおもかげ

寄せられたメッセージ

役員を代表して4名の方からお別れの言葉を頂戴しましたので、ここにご紹介します。

みやぎ街道交流会の大黒柱を失いとても残念です。
2年前初代会長の先生からのご推薦ということなので会長をお引き受けいたしました。浅学非才の身ですが、先生のご意思を受け継ぎ、会員一同と共に会の発展に努めたいと思っております。

先生には、学生時代から何かとお世話になり、本当にありがとうございました。 合掌

(みやぎ街道交流会 会長 白鳥 良一)

思い起こすと平成19年5月3日、寒風沢島にて当会が設立した日にはじめて高倉前会長とお会いしました。

先人たちへの温かいまなざしをもって研究されているお姿に深く感銘を受けました。在りし日の常に前向きなお姿を心に刻んで歴史遺産を語り継いでいきたいと思っています。

心からご冥福をお祈りいたします。

(みやぎ街道交流会 副会長 大山 真由美)

高倉淳先生には十数年来のご教示を賜って来ました。去る平成22年11月21日、先生から松島の月を観たいと頼まれ、西行戻しの松にご案内し、初冬の澄みきった空に昇る大きな満月を堪能して頂きました。しかし翌日、先生は脳梗塞で倒れ、入院生活となりました。誠に残念の極みであり、申し訳ない気持ちでした。拙い一首を奉げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

永久に観る真の月よあまの原

心の闇を照らす一本道

(みやぎ街道交流会 副会長 京野 英一)



高倉先生の訃報に接し、心より哀悼の意を表します。お通夜でお棺の先生を御拝顔し、安らかさと何かやり残した無念さのなかにも凜とした気配を感じました。

学生時代に登山や楽器を楽しんだ一方、あふれる学識としっかりとした道標のもとでの歴史研究一筋の姿には大いなる感銘を受けました。また、昼の街道歩きの楽しさと夜の酒肴を通じた街道談義により地域交流の尊さと喜びを教わり、本当に感謝申し上げます。有り難うございました。

(みやぎ街道交流会 幹事 岸 憲之)



ありし日の先生のお写真をここにご紹介します。
優しい笑顔が今も私たちの心に残っています。

平成25年度定期総会 開催報告

6月8日(土)にみやぎ街道交流会H25年度定期総会を開催しました。総会終了後は、東北学院大学経営学部教授の齊藤先生をお招きして、記念講演会、街道談義を開催しました。

◆ 定期総会 13:30～14:45

【次第】

1. 開 会

2. あいさつ

みやぎ街道交流会 会長 白鳥良一

3. 議 事

1) 議案第1号、第2号

・平成24年度事業報告(案)

・平成24年度決算報告(案)

2) 議案第3号、第4号

・平成25年度事業計画(案)

・平成25年度収支計画(案)

3) 議案第5号(役員の改選)

※以上、第1号～第5号の全事

案とも承認されました。

4. 閉 会

◆ 記念講演会 15:00～16:45

「川の道の歴史を探る

—北上川下流域を中心に—

講師：齋藤 善之氏

東北学院大学経営学部教授

みやぎ街道交流会顧問

◆ 街道談義 17:00～19:00

みやぎNPOプラザ内

「オリーブの風」にて

講師・齋藤先生を囲んでの交流会

■開催概要

平成25年6月8日(土)

みやぎNPOプラザ

第1会議室にて

(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

■参加者数

定期総会 参加者：27名

正会員(団体会員含む) …24名

賛助会員(WEB会員含む) …3名

記念講演会 聴講者：31名

街道談義 参加者：23名(講師含む)

会長挨拶(抜粋)

— 総会当日の白鳥会長の開会挨拶をご紹介します。 —

昨年度は「関山街道フォーラム」の支援、「史跡のまち再生事業『多賀城碑のなぞを探る』」の協同開催、各関係団体との交流・支援などさまざまな事業を展開し、大変な成果をあげたと考えております。これも会員の皆様の一致団結した活動の結果によるものと感謝申し上げます。

当会は、街道をキーワードとして、まず会員自身が楽しみながら学ぶことを第一義とし、各地域の活動団体との交流などをとおして、地域の活性化に少しでもお役に立てればということで活動を続けて来ています。

したがって、私たちが如何に楽しんで活動できるかということが、この会を継続・発展させていく大きな推進力なるだろうと思います。

そうした意味からも会員の皆様からも会の活動についてどしどしご意見を出していただきながら、楽しく魅力に満ちた活力ある会にして行きたいと考えております。



開会挨拶をする
白鳥会長



記念講演会講師の
齋藤先生



総会会場の様子

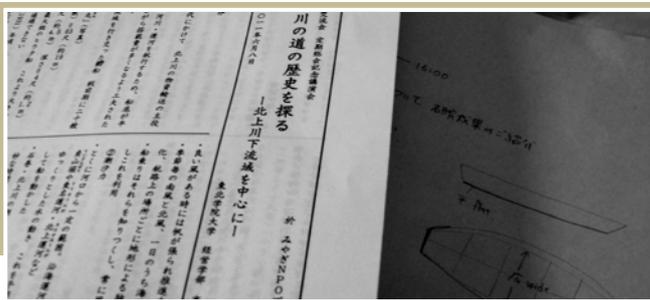


街道談義の様子

次号交流会ニュースで記念講演会の

詳しい内容をご紹介します。

記念講演会にお越しいただけなかった方のために、次号交流会ニュースにて記念講演会の講演要旨をご紹介します。お楽しみに！



今後予定している街道関連イベントの概要をお知らせします。
興味のある方は、ぜひお出かけください。
また、ご案内のイベントの他にも近隣のイベントなど多数ございますのでお気軽に事務局までお問い合わせください。

街道関連イベントの お知らせ

夏の地名講座

太宰幸子 太平洋沿岸地域を歩く

平成 25 年 8 月 18 日(日) 10 時～12 時

“夏の地名講座” 宮城県地名研究会・みやぎ街道交流会協働

太宰幸子 太平洋沿岸地域を歩く

～大震災の前・直後、そして今・明日～

地名研究の太宰幸子氏は、調査研究のため東日本大震災前から沿岸地域を訪れて来ており、被災による地域の変容に呆然とした。そして、その後も度々訪れ、復興に向けた歩みを見て来ており、その成果を河北選書及び彩流社から上梓している。

今回の講座では、これまでの調査結果を踏まえ、地域の歴史や被災前の姿、被災直後及び復興への歩みを始めた現在の状況と、そこに住む人々との会話を通じ、明日に向かって進む人々の力強さを紹介しながら、数百年・一千年後に残し・伝えるべきものは何かを考える。



お問合せいただいた際に、当交流会担当者が不在の場合は、講座名「夏の地名講座」・お名前・連絡先をお伝え下さい。
こちらから折り返しご連絡を差し上げます。

開 場 9 時半から受付開始
会 場 エル・ソーラ仙台 大研修室
仙台市青葉区中央 1 丁目 3-1 仙台駅前 AER28 階
TEL : 022-268-8041

講 師 だざい ゆきこ
太宰 幸子 氏
宮城県地名研究会会長／みやぎ街道交流会顧問

参 加 費 500円(資料代)

定 員 70名

申込期限 8月12日(月) ※定員になり次第締切

申込方法 所定の申込書により郵送・FAX・Eメールのいずれかの方法でお申込みください。

お問合せ・申し込先: みやぎ街道交流会 事務局

〒980-0014 仙台市青葉区本町 1 丁目 13-32 オーロラビル2F
TEL 022-722-3380 FAX 022-722-3381 mail miyagi-kaidou@auone.jp

とうほく街道会議 第9回交流会 『骨寺村から
岩手県 一関大会 平泉・東北を考える』

平成 25 年 11 月 1 日(金)～2 日(土)

平泉中尊寺経蔵別当の所領であった「骨寺村荘園」をテーマとして、中尊寺に伝存する古文書や2枚の『陸奥国骨寺村絵図』など、現代に中世の東北の原風景を残している村の姿を通じ、その調査・保存・活用における現状や課題等について学び、東北各地のまちづくり・地域づくりの一助とすることを目的に開催します。

メイン会場: いちのせき健康の森
【1日目】 基調講演「骨寺村と平泉」
講師: 入間田 宣夫 氏/東北大学名誉教授
分科会(2分科会を予定)・交流会(街道談義)

【2日目】 探訪会(A:骨寺村をめぐる/B:芭蕉の道を通る)

募集開始は9月下旬の予定です。お楽しみに!

事務局からのお知らせ

【H25.7.20 現在の会員数】 75名・(団体会員7団体を含む)

正会員 44 名 団体会員 7 団体 賛助会員 7 名 WEB会員 17 名

会費納入に関して

- 会費納入いただきました会員の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。
- 平成 25 年度の会費がまだの方は、引き続き随時受け付けております。
- 下記口座までお振込いただくか、みやぎ街道交流会事務局までお持ちください。

【会費のお振込み先】 みやぎ街道交流会 会計 馬場恭子
仙台銀行(コード:0512) 上杉支店(コード:225) 普通口座 2523091

会員登録内容に関して

- 会員登録内容に変更があった方は、「会員種別異動届書」を事務局までご提出ください。
 - 会員種別異動届書が必要な方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。
- ※当交流会担当者が不在の際は「会員登録内容の変更」の旨とお名前・連絡先をお伝え下さい。こちらから折り返しご連絡を差し上げます。

【お問合せ先】 電話・FAX・Eメールでご連絡をお待ちしております。
TEL 022-722-3380 FAX 022-722-3381 mail miyagi-kaidou@auone.jp

編集後記

みやぎ街道交流会ニュース第 24 号を最後までお読みいただきありがとうございます。宮城県内でも梅雨明けの便りが今か今かと待ち遠しい今日この頃。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部は今年度から編集長・日下、編集担当・松山の新体制でリニューアルしました。引き続き、みやぎ街道交流会ニュースをよろしくお願ひします。次号は街道イベント報告満載で秋ごろの発行を予定しています。次号もお楽しみに。(くり)

交流会ニュースでは、会員の皆様からの投稿をお待ちしております。街道探訪記や研究成果、季節の写真やスケッチなど、内容は問いません。ぜひ、交流会ニュース編集部までお知らせください。